

2019 11/26 第59号

ふくしま 再生 短信

認定NPO法人ふくしま再生の会主催・東大大学院農学生命科学研究科農における放射線影響FG共催・渥美国際交流財団SGRA後援
10/20報告会 原発事故後8年半 被害地の暮らしの今と将来～映像と会話～



※ 明日の実りへ ※

2019年10月20日15時、東大農学部弥生講堂アネックス、第8回総会の後表題のふくしま再生の会第19回活動報告会「原発事故後8年半被害地の暮らしの今と将来～映像と会話～」開催(写真1)。始めに、東大大学院農学生命科学研究科長・農学部長・堤伸浩さん(写真2)、再生の会理事長・田尾陽一さん(写真3)、同副理事長・佐須行政区長・飯館村佐須行政区地域活性化協議会長・菅野宗夫さん(写真4)挨拶。宗夫さん「お蔭様で大水害を乗り越え豊かな実りを実現でき感謝」(写真5)。ふくしま再生の会は新しい生活環境の選択を迫られている村の方々とどのように協働を進めるかを考え続け、課題は多様に複雑になる中、**<第1部>**これまでも継続している各種活動について、特に新しい要素を取り込んでいる状況も含めて報告。各リーダーが映像で紹介。副理事長・東大

学院教授・溝口勝さん「農業再生とICT技術の事業化、東大むら塾若者に期待」(写真6)。ハウス・大永貴規さん「機能性食品だったんそば3年目で150キロ収穫」(写真7)。放射線・小原壮二さん「測定小屋完成稼働、ブドウ栽培前進」(写真8)。分析とまでい・伊井一夫さん「放射能データベースに成果、玄米の放射性セシウムは1Bq/kg以下」(写真9)。健康医療ケア・中町芙佐子さん「コミュニティの再生めざしています」(写真10)。**<第2部>**新しい取組み。田尾さんから現場報告と問題提起。旧佐須小(全景空撮:写真11)の解体進行の最中、風と土の家竣工。アートディレクター・北川フラムさんと村民が囲炉裏端で交流(写真12)。畜産事業家37歳・山田豊さん「大地の芸術祭に感動」(写真13)。宗夫さん「心の分断を超えたい」。18時10分散会。(文責&撮影-5は佐須現地・若林一平)